

令和5年度 狛江市一般会計補正予算(第3号)

2023.8.30
補正予算関係資料

【補正予算 概要】

市独自の物価高騰対策として、住民税非課税世帯特別給付金の対象世帯の拡大、新たに大学生や中小企業者、農業者への支援を実施します。また、狛江駅周辺の「ほこみち」制度による道路空間の活用等の中核を担い、官民連携によるまちづくりの共創プラットフォームとして、「地域まちづくり法人」を設立する経費を計上するとともに、都市OSを活用した地域課題の解決に向けたスマートシティ・リビングラボシステムの導入費用等を計上するほか、前年度決算の整理等を行うものです。

【補正予算額】

22億8,326万7千円 (うち、物価高騰対策:2億3,929万8千円、新型コロナウイルス対策:1億2,297万2千円)

【主な事業】

| 款 | 項 | 目 | 事業名 | 補正額 (単位:千円) | 事業内容 | 担当課 【問い合わせ】 |
|--------------|----|--------|---------------|----------------|--|-----------------------------|
| 1 | 2 | 1 7 15 | こまへのデザイン。 | 3,200 | 狛江駅周辺の「ほこみち」制度による道路空間の活用等の中核を担い、官民連携によるまちづくりの共創プラットフォームとして、「地域まちづくり法人」を設立する。 | 未来戦略室長 銀林(内線4004) |
| 2 | 2 | 1 7 16 | DX推進関係費 | 10,049 | 地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業として、都市OSを活用し、地域課題の解決に向け、スマートシティ・リビングラボシステムを導入するとともに、シビックテックコミュニティの立ち上げや地域課題探索のワークショップなどを実施する。 | 情報政策課長 安江(内線4008) |
| 3 | 3 | 1 1 38 | 住民税非課税世帯特別給付金 | 39,738 | 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり、3万円を給付しているが、住民税の均等割は課税されているものの、所得割が非課税の世帯も対象となるよう、市独自事業として、制度を拡大し、支援する。 | 福祉相談課長 杉田(内線2215) |
| 4 | 3 | 2 1 15 | 子育て世帯緊急対策応援事業 | 45,760 | 市独自事業として、食費等の物価高騰などにより、家計がひっ迫し、学生生活や学業等の継続が困難になる可能性が高い、単身世帯・ひとり親世帯・市民税非課税世帯・多子世帯などの大学生などに、ひとりあたり5万円を給付する。 | 子ども政策課長 山口(内線2305) |
| 5 | 4 | 1 2 9 | 新型コロナ予防接種 | 122,972 | 秋開始接種分として、XBB.1.5に対応したワクチンの接種費用・運営費などを計上・整理する。 | 健康推進課長 布施 (03-3488-1181) |
| 6 | 6 | 1 3 2 | 農業振興関係費 | 1,000 | 市独自事業として、肥料価格の高騰の影響を受ける農業者を支援する。 | 地域活性課長 矢野(内線2275) |
| 7 | 6 | 1 4 1 | 市民農園関係費 | 8,881 | 新たに市民農園を和泉本町一丁目に整備する。 | 地域活性課長 矢野(内線2275) |
| 8 | 7 | 1 2 5 | 中小企業者緊急対策応援事業 | 145,000 | 市独自事業として、電力価格の高騰の影響を受ける中小企業者を支援するため、電気料高騰対策支援金を実施する。 | 地域活性課長 矢野(内線2275) |
| 9 | 8 | 2 5 1 | 交通安全対策費 | 1,600 | 今年度から開始している乳幼児・児童用自転車ヘルメット購入費助成について、対象を大人まで拡大する。 | 道路交通課長 一瀬(内線2515) |
| 10 | 12 | 1 1 1 | 財政調整基金費ほか | 1,278,963 | 各種基金へ積立て | 財政課長 古内(内線2415) |
| (主な事業) 合計 | | | | 1,657,163 | — | — |

【補正予算全般に関する問い合わせ】
狛江市 企画財政部 財政課長 古内
電話 代表03-3430-1111(内線2415)